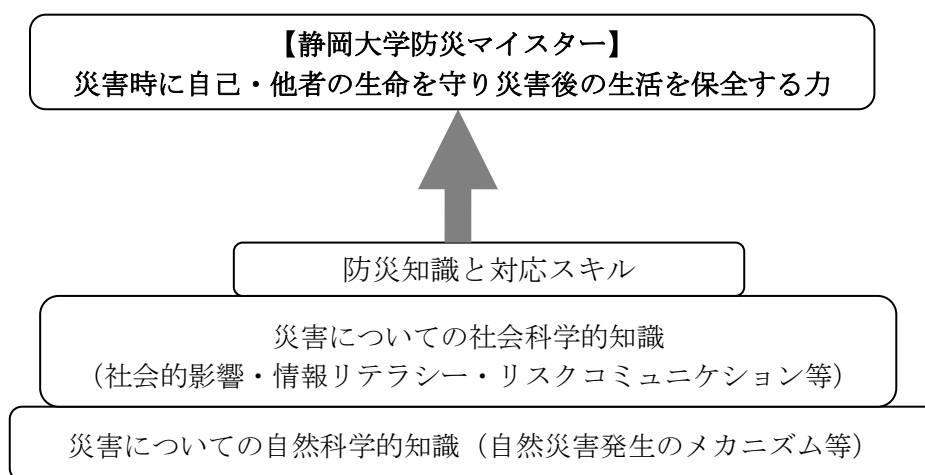


静岡大学防災マイスター称号とその取得について
(ガイダンス資料 2021年度用・静岡キャンパス)

【趣旨】

南海トラフ地震の想定域にある静岡大学では、防災総合センターを設立し、学生の防災力向上や防災に関する研究・地域連携に務めてきました。これまでも共通科目として「新入生セミナー（防災）」、学際科目「地震防災」、「地域社会と災害」等を提供してきましたが、十分体系的なものにはなっていませんでした。

先の阪神・淡路大震災、東北地方太平洋沖地震等を見ても分かるように、自然災害被害を減じるためには、ハード面のみならずソフト面の充実が欠かせず、教育機関が果たす役割は大きいものがあります。そこで、本学では、平成23年度より防災マイスター制度を立ち上げ、一定レベルの防災知識を備えた学生を養成して社会に送り出すこととしました。令和元年度までに102名が「静岡大学防災マイスター」の称号を得ました。



【到達目標】

静岡県でとりわけ危惧される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に対する科学的な知識を有し、それに基づいて災害時に自己や他者の生命と災害後の生活を守る基礎となる防災知識・スキルを獲得すること。また教育学部にあつては、それを学校安全の推進に活用できる能力を獲得することを目標としています。

【称号認定条件】

必修科目3単位、選択必修科目4単位以上、選択科目5単位以上の合計12単位以上の取得と修了レポートの提出・合格

【認定までの流れ】

- ①「静岡大学防災マイスター授与にかかる単位取得計画書（様式1）」と申請者登録用紙の提出
(2021年4月23日(金) 締切)
- ②科目の履修
- ③レポート課題の発表(10月上旬)
- ④卒業年次に修了レポート提出(11月下旬 締切)
- ⑤修了レポート返却(1月上旬)
- ⑥修了レポート再提出(指示がある者のみ・1月下旬 締切)
- ⑦「静岡大学防災マイスター称号授与申請書（様式2）」と単位取得確認書類の提出(2月上旬 締切)
- ⑧認定証の授与(3月下旬)

※提出は、メール添付で meister.office.shiz@shizuoka.ac.jp まで。

※上記手続きの詳細は静岡大学防災総合センターHPに順次掲載します。

【2021年度 申請者履修科目】 (予定)

防災マイスター称号取得の対象となる科目は、以下の科目です。認定のためには、必修科目3単位、選択必修科目から4単位以上、選択科目から5単位以上の合計12単位以上の取得が必要となります。

●必修科目 (3単位)

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
教育学部	学校におけるリスク管理	2	3	村越真
地域創造学環	防災科学実習	1	3	小山真人

●選択必修科目 (4単位以上※注7)

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
全学教育 (静岡)	地震防災	2	2~3	牛山素行/原田賢治
	地域社会と災害	2	2	牛山素行
	地球科学	2	2	原田賢治
	災害時におけるリスク危機マネジメント	2	2~3	村越真

●選択科目 (5単位以上)

対応学部等	科目名	単位	対象年次	担当教員
全学教育 (静岡)	進化と地球環境	2	2	鈴木雄太郎
	静岡県の防災・減災と原子力	2	3	大矢恭久
	社会資本マネジメント論	2	2	岩田孝仁
	公共施設デザイン論	2	3	岩田孝仁
教育学部 人文社会科学部 地域創造学環	自然災害学 (隔年開講)	2	2~4	2021年度非開講
	地球・宇宙システムⅡ (隔年開講)	1	3~4	小山真人
	心理学入門	2	1	小林敬一
	学校カウンセリング論	2	2	小林朋子
	認知心理学	2	3	村越真
	地誌学概論	2	1	中條暁仁
理学部 地域創造学環	地球ダイナミクス概論Ⅰ	2	2	川本竜彦/田阪 美樹
	地球ダイナミクス概論Ⅱ	2	2	生田領野/石橋秀巳/ 三井雄太
	生物環境科学概論Ⅰ	2	2	塚越哲/佐藤慎一
	生物環境科学概論Ⅱ	2	2	木村浩之/宗林留美
	放射線計測・管理学概論	2	3	大矢恭久
	放射線管理実習	1	2	大矢恭久/矢永誠人/ 近田拓未
農学部	溪流環境学	2	3	今泉文寿
	森林環境水文学	2	2	土屋 智
	地質学概論	2	2	石川政憲
	山地保全学	2	3	高山翔揮
	測量学	2	3	今泉文寿/菌部礼
地域創造学環	実践からの防災行政論	2	1~3	岩田孝仁
	科学ジャーナリズム論 (隔年開講)	2	3~4	黒沢大陸/添田孝史
	自然災害と現代社会	2	3	小山真人
(学芸員)	博物館情報・メディア論	2	2	江水是仁

●履修上の留意事項

- 注 1 必修科目については、教育学部の「学校におけるリスク管理」、地域創造学環の「防災科学実習」を履修すること。
- 注 2 選択必修科目については、全学教育科目「地震防災」、「地域社会と災害」、「地球科学」、「災害時におけるリスク・危機マネジメント」から4単位以上履修すること。
- 注 3 選択科目については、全学教育科目に設定されている4科目と、原則としてそれぞれの学部、地域創造学環で設定されている選択科目（人文学部・人文社会科学部は教育学部の選択科目）から5単位以上を履修すること。
- 注 4 上記科目で既に履修した単位は、称号認定のための単位として認められる。
- 注 5 科目によっては隔年開講のものがあるので、時間割をよく見て履修計画を立てること。
- 注 6 一覧表は2021年度申請者用です。他年度の申請者は自分の申請した年度の一覧表を参照すること。
- 注 7 選択必修科目を4単位を超えて履修した場合、その超えた単位は選択科目の単位とすることができる。（例：選択必修科目6単位履修の場合は2単位を選択科目の単位とすることができる。）

◆よくある質問：

Q 1：防災マイスターの称号を取ると、どんな役に立ちますか

A 1：称号を得ることによって、特別な待遇を得られるという形にはなっていませんが、東海地震震源域にある静岡県での生活に役立つ学習内容であることは、間違いありません。

Q 2：防災マイスターの称号取得者の進路はどのようになっていますか。

A 2：取得者102人の進路は、教職38人、公務員22人、民間企業22人、進学19人、その他1人と なっています。

計画書提出手続きについて

Q 3：年度の途中で取得を希望した場合、どうすればいいでしょうか。

A 3：年度途中での受け付けはしていません。次年度の防災マイスター希望者へのガイダンスに出席し、次年度に希望者として手続きをしてください。

Q 4：前年度までに防災マイスターの単位取得計画書を提出しています。今年度何か必要な手続きはありますか。

A 4：既に計画書を提出した人については、新たに計画書を提出する必要はありません。ただし、連絡先登録用紙の未提出者、連絡先が変わった方は防災総合センターまでご連絡ください。

Q 5：在学生です。履修科目一覧に掲載されている科目で既に取得済みの単位はどのように扱われますか。

A 5：一覧に掲載の既習の単位は、防災マイスター称号認定の対象単位として扱います。計画書には取得した年次を記入してください。

Q 6：既習の単位の担当教員が一覧の同名の科目の担当教員と違いますが、どのように扱われますか。

A 6：認定対象の単位として扱います。

履修科目について

Q 7 : 過去の年度と今年度で履修科目が変わっているがどうすればいいでしょうか。

A 7 : 申請した年度の履修科目一覧に沿って履修してください。

Q 8 : 他学部の科目を取得する必要がありますが、特別な手続きは必要ですか。

A 8 : 静岡キャンパスの必修 2 科目は教育学部、地域創造学環で対応しています。また、人文社会科学部の選択科目も教育学部で対応しています。他学部の科目を履修するための手続きが必要な場合がありますので、各学部学務係窓口にて確認をしてください。

Q 9 : 選択必修科目で抽選に外れたらどうすればいいですか

A 9 : 学際科目については、防災マイスターを希望しているからといって、抽選が優先されることはありません。しかしながら選択必修科目は 4 科目あるので、特に問題はないかとは思いますが、もし、3 年後期の抽選後に選択必修科目が取れていない場合は、すみやかに防災総合センターにご相談ください。

Q 10 : 履修計画登録時と違う科目を資格認定に使用しても大丈夫でしょうか

A 10 : 大丈夫です。但し、単位修得は計画的に行うようにしてください。

Q 11 : 大学院生ですが、今までまったく防災マイスターに関する単位を取っていません。0 からでも取得することは可能ですか

A 11 : 可能です。ただし、学部授業の取得単位数の上限は 16 単位のため、他に自分が必要な単位を考えて計画的に履修するようにしてください。

Q 12 : 他学部の選択科目を履修できますか。

A 12 : 科目によっては基礎知識を学んでいることを前提に開講しています。希望する担当教員から履修の許可をいただければ可能です。

その他

Q 13 : 最終レポートとして課される課題はどのようなものですか

A 13 : レポートは卒業年次に提出していただきます。レポート課題については、後日HPにアップします。内容としては、学んだ知識を職業や地域の生活にどのように生かすかをまとめてもらうものになります。但し、予備審査の後で、再提出を求めることもあるため、その点は心しておいてください。